

新春 SDGsクイズラリー ～白馬に来て見て答えてアプリでGet!～

事業実施主体：白馬五竜観光協会
事業実施箇所：長野県白馬村
商店街店舗数：80店舗

- インバウンドや宿泊客の落ち込みが激しい時期に、地元の誰でも参加できる枠組みを設定した白馬村のさらなる魅力の発見につながる事業を行う。
- クイズラリーの問題は、白馬高校国際観光科の生徒が全面協力。白馬村にまた来てくれることが見込まれるファミリー層を獲得する為、遊びながら学べる機能があり次につながるイベントを開催。
- オンライン抽選会の様子を発信。リアルタイムで抽選結果が分かるので、参加者の関心を高める効果を期待する。

背景・課題

- ✓ インバウンドの落ち込みが激しい1月～2月において、宿泊客や地元の誰もが参加できる枠組みを作り、集客増加に繋がる取り組みを行う必要がある。
- ✓ 販売に結びつく要素を取り入れ、売り上げ向上に繋げる。

取組内容

- ✓ スマートフォンアプリを活用したイベントの実施。
- ✓ 地元の良さを再発見できるようなSDGsクイズラリーを開催。参加することで抽選券を獲得。クイズは白馬高校国際観光科と共同で制作。
- ✓ オンライン抽選会を2日間に渡り計3回開催。各回100名に白馬の特産品をプレゼント。

見込まれる効果等

- ✓ アプリを使ったイベントを行い、白馬五竜への誘客を促す。
- ✓ 県外からの来村者にも地元住民にも地域の良さが分かるクイズラリーを行うことで、魅力の再発見を狙う。
- ✓ 商品に白馬村特産品を活用することで、地域の魅力向上に繋がる。



オンライン抽選会のようなす



クイズラリー設置場所のようす